

一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

Tsuchiura City Assembly

「事業仕分け」を市民との協働事業の一環として行う



柏村忠志 議員

質問 来年度予算の無駄を洗い流す事業仕分けについて、国民的関心が持たれている。本市においても、無駄のない質の高い行政サービスを作り出すため、事業仕分けを市民と協働事業の一環として行つてはどうか。

市長 事業仕分けは、平成14年に政策シンクタンク構想日本が中心となり、地方自治体において先駆け実施してきたものであり、これまで50前

後の自治体で行われてきた。本市でも事務事業の総点検として、事業の見直しや予算の縮小など、多岐に渡る見直しを実施してきたが、年明けには構想日本から講師をお招きし、幹部職員の研修会を実施したいと考えている。今後は、議員ご提案の市民との協働の視点の検討も含め、導入実施に向けた調査研究を深めてみたい。

（掲載以外の質問事項）

- 一 市制施行70周年記念事業の提案【桜川・霞ヶ浦を積極的に活かした水郷のまち土浦を創りだす】
- 三 土浦市の「相対的貧困率」を伺う

神立駅西口区画整理事業の推進に伴う都市計画決定について



川原場明朗議員

質問 神立駅西口区画整理事業について、議論はもう尽くされておられ、近隣の民意は全て理解を示している。現在の同意率は82パーセントであるものの、政治的な判断の段

階に来ており、速やかに都市計画決定すべきであると考えますが、見解を伺う。

副市長 地権者の方々からも整備の必要性については理解を示していただいているが、

具体的な事業に関わる補償になると、地権者それぞれの事情もあり、未同意者の理解が得られていないのが現状である。今月末まで、全力で同意取り付けを行いたいと考えている。また、年明けに、同意状況等の結果を踏まえ、かすみがうら市と本市の両市長の協議による都市計画決定の最終的な判断を行うことになっている。



神立駅西口

土浦協同病院の市中心部誘致に際する進捗状況について



寺内 充 議員

質問 茨城県厚生農業協同組合連合会（以下、厚生連）からの答申書によると、新病院の開院を平成25年10月に予定しているとのことであり、遅くとも来年には移転先を決定しなければならぬと思われる。今後、病院建設がスムーズに進むようにバックアップ体制を整えていただき、市の主導型で移転先を決定していただきたい。

副市長 土浦協同病院の新築移転に機関決定されたことから、具体的に市として推進する建設候補地について、プロジェクトチームを設置して課題の抽出等の作業を進めている。本市のまちづくり、また市民にとって最も望まれる新病院を建設していただけるよう、働きかけをしていくことが本市の役割であると考えている。

うつ病問題について



福田一夫 議員

質問 現在の日本では、毎年3万人を超える自殺者が出ており、その7割近くの方が精神科等の医療機関を受診し、うつ状態を発症していたとのデータがある。今やうつ、自殺の問題は個人の問題ではなく、社会的な視野で考えての啓発や対策が求められていることから、本市の対応を伺う。

保健福祉部長 本市では、毎月1回保健センターにおいて専門医を配置し、市民からの悩みを答える「こころの相談」を実施しており、必要な場合には医療機関等での早期治療につなげている。さらに、来年度から市の職員として精神保健福祉士を採用する予定となっており、種々の相談、助言指導をより専門的に支援する体制の構築に努めてまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

- 二 地域支援包括センターについて